

ミクロネシア連邦及びマーシャル諸島共和国の排他的経済水域の海山に分布するコバルト鉄 - マンガンクラストの分布的特徴について

Features of distribution pattern of cobalt-rich ferromanganese crusts on the Micronesian and Marshall Islands seamounts

岡本 信行^{1*}, 臼井 朗²

Nobuyuki Okamoto^{1*}, Akira Usui²

¹ 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構, ² 高知大学

¹ Japan Oil, Gas and Metals National Corporation, ² Kochi University

北西太平洋の海山に分布するコバルトリッチ鉄 - マンガンクラスト (以下「コバルトクラスト」という。) は、コバルト、ニッケル、白金及びレアアース資源としての可能性を有している。特に、マーシャル諸島共和国及びミクロネシア連邦海域の海山上のコバルトクラストは、太平洋の中で最もポテンシャルが高いと言われている。1997年から2005年にかけて、海洋資源調査船「第2白嶺丸」を用いたコバルトリッチクラストの探査が、日本とSOPAC (南太平洋応用地球科学委員会) との間の資源開発協力基礎調査の一環として、両国の経済水域で行われた。これらの調査航海を通じて、膨大な物理探査、地質、海底映像、環境データが取得された。今回の発表では、これらの海山での調査結果を踏まえて、コバルトクラストの分布的特徴について述べたい。

キーワード: コバルトリッチ鉄 - マンガンクラスト, コバルトクラスト, 海山, マーシャル諸島共和国, ミクロネシア連邦, 南太平洋応用地球科学委員会

Keywords: cobalt-rich ferromanganese crusts, cobalt crusts, seamount, Republic of the Marshall Islands, FSM, SOPAC